

単元名 遊び歌めぐり

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり気付くとともに、拍に合わせて歌ったり遊んだりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりすることができる。
- (3) 日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070204_001

【教材名】日本や世界の子どもの歌（鑑賞）十五夜さんのもちつき（歌唱）陽気なかじや（歌唱 器楽）
（P. 36～P. 39）

【準備等】鑑賞CD、範唱CD、リコーダー、世界地図

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「日本や世界の子どもの歌」から「十五夜さんのもちつき」と「キパパーキ・パパパ」を聴き、違いを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「十五夜さんのもちつき」と「キパパーキ・パパパ」を聴き、それぞれの違いを感じ取る。 ★世界の友だちの歌を楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の写真を参考に、どこの国の歌かを想像して聴く。 ・共通点、相違点について、気付いたことを出し合う。 ○「十五夜さんのもちつき」で手合わせをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・1段ずつ歌詞を覚え、歌詞に合わせて動きを付ける。 ・ペアになって手遊びをする。 ・テンポを速めたり、ペアを替えたりして手合わせをする。 <p>2 様々な手遊び歌で遊んだり、「日本や世界の子どもの歌」を聴いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○十五夜さんのもちつきを復習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・知っている手合わせ歌を思い出し、紹介して歌ったり遊んだりする。 ○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの違いを感じ取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真を参考に、どの国の歌かを想像して聴く。 ・どの曲がどの国の音楽か伝え合う。 ○「陽気なかじや」を歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲名と国名を知る。 ・範唱CDとともに歌詞唱する。 <p>3 「陽気なかじや」を歌いながら手合わせをしたり、リコーダーの旋律を演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○範唱を聴きながら、手合わせをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・1番を歌えるようにし、手合わせを加える。 ・2番を覚え、手合わせをする。 ・相手や速度を替えたりして、歌いながら手合わせをする。 ○リコーダーの旋律を演奏し、歌と合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・範奏を聴き、旋律を把握する。 ・前半8小節を繰り返し演奏する。 ・後半8小節を繰り返し演奏する。 ・全体16小節を通して演奏する。 ・リコーダーと歌のグループに分かれて演奏する。 <p>4 「陽気なかじや」を歌とリコーダーで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時を思い出し、リコーダーと歌のグループに分かれて合わせる。 ○基本の手合わせをしながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・<もつとあそぼう>で例示された手合わせで遊ぶ。 ・新しい手遊びをつくって、遊びながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外に世界地図などの資料を用意する ・言葉が違っていても、楽しい雰囲気が伝わってくる点では同じであることに気付かせる。 ・手拍子が入っていることや遊びながら歌っていること、言葉が違っていることなどを意識させ、どちらも手遊び歌であることを確認する。 【共通事項】拍の流れ 旋律 リズム ・同じ歌でも、いろいろな歌詞や遊び方があることを伝える。 ・最初はペアにならず、歌詞の言葉と動きに着目させ、全員でかえし手を覚える。 ・全体を覚えてからペアになって手遊びをさせるようにする。 【評】曲想と旋律など音楽の構造とを関わらせながら表現する活動を通して「知識」を評価する。 ・例として、「おちゃらか」「げんこつやまのたぬきさん」「おべんとうばこのうた」などがある。 ・どの曲も、本来は遊びながら歌う曲であることを説明する。 ・日本の近く（アジア）にある国、遠くにある国（ヨーロッパ）などを補足するとよい。 【評】日本や諸外国の歌や遊びを表現する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・弱起（アウフタクト）の曲なので、ぼ【く】わた【し】から膝打ちの1拍目が始まることを意識させる。 【評】拍に合わせて歌ったり遊んだりする活動を通して「技能」を評価する。 ・前半は1～3小節、4～5小節、6～8小節と分けて、段階的に導入する。 ・後半は14～15小節が前半とは異なることに気付かせる。 ・慣れてきたら、拍を感じ取り3拍子にのって演奏するようにさせる。 ・ペアやグループで速度を変化させながら、自由に手合わせさせる。 【共通事項】拍の流れ 速度

- 「日本や世界の子どもの歌」を聴き、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。
 - ・各曲の国名や曲名を思い出しながら聴く。
 - ・同じところ、似ているところ、違っているところなどについて、伝え合う。

- ・インターネットの動画などを紹介してもよい

【評】旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】